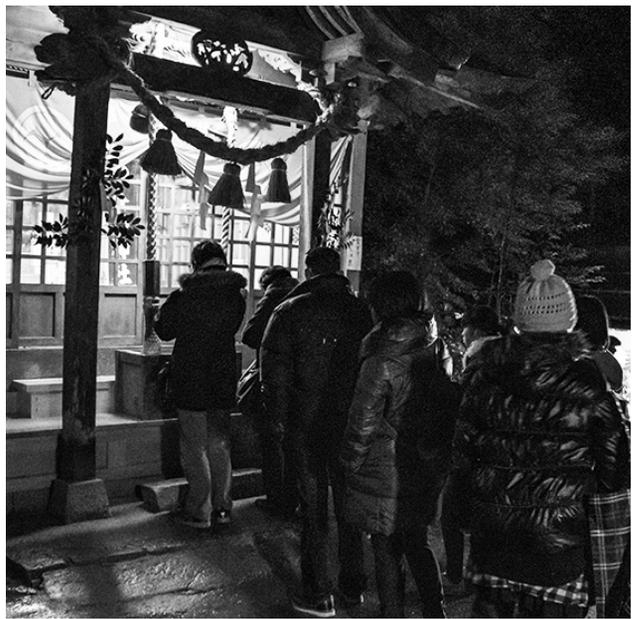


新年に願い込めー。各地で初もうで

金持神社常夜祭・初もうで



▲日付が変わると、境内を埋め尽くした参拝者が次々と拜殿に向かって手を合わせる姿が▶毎年恒例となっている金持青年会の獅子舞。縁起ものにあやかろうと足を止め、舞に見入る参拝者の姿が



新年が明け、今年一年の無病息災などさまざまな願いを込めようと、町内各地で初もうでに出かける姿が見られました。

毎年多くの参拝者が訪れる金持神社では、12月31日（大みそか）の午後10時から町観光協会が常夜祭を行い、町内をはじめ県内外から多くの参拝者が訪れました。

常夜祭では、札所（売店）の開所や金持神社参道周辺に20基の石灯籠が点灯され、参拝者を温かく出迎えました。札所では、スタンプらが「良い年になりますように」「気を付けて帰ってください」など、

一人一人に温かく声を掛ける様子が見られました。

金持神社の元旦から1月3日にかけての人数は約6万1千人。1日午前0時ごろから、多くの参拝者が列をつくり、家族の無病息災から金運・開運成就まで、さまざまな願いを込めていました。また、午前9時ごろからは、金持青年会が獅子舞を奉納。参拝者や町内外から訪れたカメラ愛好家らが夢中でシャッターを切っていました。

令和になって初めての新年。今年はどうなる一年になるのでしょうか。

誰もが安心して春を迎えられるように

菅福除雪隊結団式



「がんばるぞ、オー!」。元気よく拳を振り上げて

12月18日、JR上菅駅前で、菅福地区の除雪隊の結団式が行われました。除雪隊は、自力での除雪が困難な世帯の不安を解消し、安心して春を迎えたいと、5年前から活動を行っています。除雪機は町の補助金などを活用し、これまでに6台を購入。菅福地区を中心に12集落、約24世帯を対象に除雪作業を行う予定です。

この日は、除雪隊のメンバーである菅福地区の民生委員や地域おこし協力隊、ボランティアら6人が集合。「共助の精神で、安心安全な地域づくりに貢献したい」と話し、降雪シーズンを前に決意を新たにしていました。

大集合！はたらくくるま

はたらくくるまのおはなし会



しおり作りなど、見て触れて楽しむイベントに

11月23日、町文化センターで、図書館まつり・はたらくくるまのおはなし会が開かれました。

公益財団法人鳥取県建設技術センター（倉吉市）協力のもと、パトカーや消防車、ダンプカーをはじめとした「はたらくくるま」に関する絵本やおもちゃなどが勢ぞろい。絵本の読み聞かせや写真撮影、しおり作りなども行われ、楽しみながらその魅力に触れていました。

町図書館では、2月中旬まで、「はたらくくるまのえほん」コーナーを設けています。お気軽にお越しください。



# 共に考える地域と子どもたちの未来

日野高校魅力向上推進協議会&日野郡ふるさと教育推進協議会 協働シンポジウム



学校・地域で生徒を育てるには一。パネリストから活発な意見が交わされる



山村開発センターで来場者と高校生とのワークショップも開催

島）、津和野高校（島根）、日野高校、日野町役場、野元改革（JK）課の生徒らがそれぞれ取り組

んだ地域づくり活動を紹介。地域とのかかわりの中で学んだことやその成果を発表しました。

日野高校の魅力アップに取り組む日野高校魅力向上推進協議会と日野郡ふるさと教育推進協議会による協働シンポジウムが、12月21日、町文化センターで開かれました。

ふるさと教育とは、学校・地域・行政が一体となって、地域に愛着を持ち、将来ふるさとに貢献できる人材を育てようと、昨年6月に日野郡3町が中心となって設立されたもの。今後、郡内に公設塾を設置し、課題解決学習や学力向上を支援することとしています。

シンポジウムでは、「みらいにチャレンジ！わが町の高校生」をテーマに、鳥取城北高校、大崎海星高校（広

その後、島根県海士町で隠岐島前高校の魅力化に取り組んだ岩本悠さんや総務省地域力創造アドバイザーも務める藤岡慎二さんらをパネリストに迎え、「教育魅力化を持続的に展開するには」をテーマにパネルディスカッションが開かれました。

日野郡全体で取り組んでいるふるさと教育や日野高校の魅力化への取り組みに触れながら、「効果が見えにくいからこそ、価値の見える化」が重要。地域住民が積極的に高校生らとふれあい、その活動や成果を実感してほしい」と、大人も学ぶ喜びを共に感じることのできる教育魅力化が持続できると提言されました。



# しいたんバス 出発進行!

町では、中型バス車両の老朽化に伴い、新型車両1台（28人乗り）を購入、1月から運行を開始しました。

新しいバスは小型バス車両で、車体に町公式キャラクターである「しいたん」が大きく描かれ、親しみやすいデザインとなっています。主な運行路線は、板井原・真住線、奥渡線です。

## 〈町営バスに乗りましょう〉

町営バスは、地域の皆さんの交通機関です。運賃はすべて町の収入になります。皆さんの交通機関を守るため、多くの利用を願います。

【問い合わせ先】日野交通株式会社（電話72・0219）

役場企画政策課（電話72・0332）